

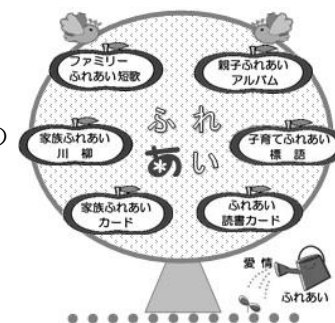





令和6年度
No.1

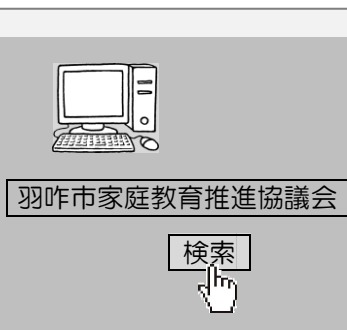
羽咋市家庭教育推進協議会の取り組み



昭和55年6月、より健やかな家庭づくりをめざし、市民憲章実践活動の一環として、市民ぐるみで家庭教育の推進を願い、【羽咋市家庭教育推進協議会】が設立されました。



家庭教育支援部会	乳幼児部会	児童部会	生徒部会	少年育成部会
子育てに関する情報紙の発行 家庭教育や子育てに役立つ情報を年間2、3回にわたり発信する。  一例 もうやめた スマホ見るより 子とかいわ 父	親子ふれあいアルバム 募集期間：7～8月 親子で我が家のアルバム作りをする。 11/3～4 市文化祭展示	家族ふれあいカード 対象：全小学生・中学生 実施日：6月16日 方法：ノーテレビ・ノーゲームの日とし、家族でお話、家族のお手伝い、食事を一緒に食べる。 共催：羽咋市PTA連合会 家庭教育委員会 家族ふれあい川柳 お題（あいさつ、家族、食事、お手伝い、羽咋市、その他） 対象：小学校3～6年生、全中学生・高校生 募集期間：7～8月 方法：初句と返句からなる二つの句を一組とする。5・7・5のリズムで、家族への想いを伝える。 11/3～4 市文化祭展示 **応募は、応募用紙でも羽咋市電子申請サービスでも受け付けます**	毎月第3日曜日は「家庭の日」 巡回活動 薄暮時に羽咋市街を巡回する。 毎月2回実施予定 ファミリーふれあい短歌 テーマ「家族のふれあい」 対象：全中学生・高校生 募集期間：7～8月 方法：5・7・5・7・7のリズムで家族で短歌を作る。 	
CAP講演会 大人ワークショップ CAPとは、 <u>Child Assault Prevention</u> の頭文字をとったもので、子どもがあらゆる暴力から自分を守り、人権意識を高めるための人権教育プログラムです。 市内保育園・認定こども園(3ヶ所)	羽咋市ふれあい読書 対象：全乳幼児、小学校1～2年生 実施日：9月の1ヶ月間 方法：大人と子どもが読書し、1日につき1マス進める。(10回コース) 	はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」 10月20日(日) 午前10時～午後2時 羽咋体育館他 CAP講演会 大人ワークショップ 市内保育園・認定こども園(3ヶ所)	あいさつ運動及びインターネットや生活リズムに関する啓発カード入りのポケットティッシュの配布 JR羽咋駅前(東口) 年8回予定(少年育成部会) 年3回予定(生徒部会) 朝7:00～8:00 	サイバー巡回 ネット上の掲示板やブログの監視活動を行う。
		非行・被害防止講座 市内小学校(5ヶ所) 中学校(2ヶ所)		



QRコードで
家庭教育推進協議会の
webサイトにアクセスできます



キャップ
【CAP講演会】

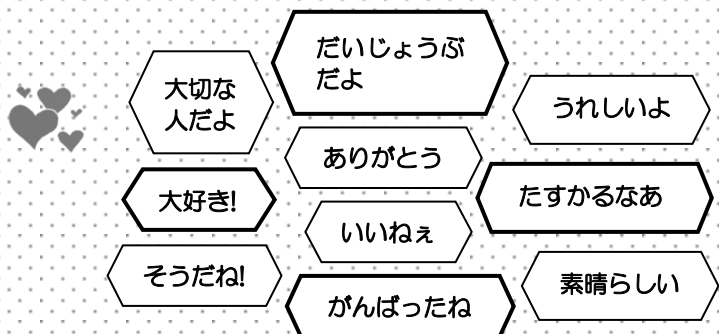


CAPとは、
Child Assault Prevention の頭文字をとったもので、
子どもがあらゆる暴力から自分を守り、人権意識を高めるための
人権教育プログラムです。市内保育所・保育園・認定こども園、
小学校で実施しています。

CAPのメッセージは、あなたと子どもの信頼の絆を深めます

エンパワメントの言葉の

G I F T ギフト
子どもへ贈る言葉
子どもの心はホカホカと
あたたかくなります。



あなたなら子どもに、どんな言葉をかけますか？

…毎月第3日曜日は…
『家庭の日』

石川県では、昭和41年から毎月第3日曜日を
「家庭の日」としています。家庭の事情により、
取り組み方は様々ではあるかと思いますが、ご家族で
ふれあいの時間をもっといただけたらと思います。

- ☆「ノーテレビ・ノーゲームデー」として、取り組みましょう(一定の時間でも可)
- ☆家族で一緒に遊んだり、運動をしたりしましょう
- ☆夕食の準備など、子どもにお手伝いをしてもらいましょう
- ☆家族一緒に食事をしましょう
- ☆家族で会話をしましょう



全国の【家庭教育】の取り組みを紹介します！
今回は、福井県敦賀市です！

「家庭教育 7つのすすめ」

- 1 自他の命を大切にする心を
- 2 子どもの成長にあった生活リズムを
- 3 仲間とつながる力や社会性を
- 4 心のよりどころや安心感を
- 5 自分を高める力や立ち直る力を
- 6 子どもの個性の伸長を
- 7 21 世紀・情報化社会を生き抜く力を

敦賀市ホームページ「家庭教育支援」より

敦賀市ホームページ「家庭教育支援」



<https://www.city.tsuruga.lg.jp/kosodate/kosodate/kateikyoubiku-7susume.html>



詳細については、
こちらからご覧ください

R6.1.1 能登半島地震 あれから5カ月が経ちました。皆様やお子様、地域の人は、
この5カ月間をいかが過ごされたでしょうか。「心細い」「不安」「泣けてくる」「将来どう
なるんだろう」…様々な想いを抱えていることと思います。元気に見えても、実は心
が落ち込んでいる人は多いのではないのでしょうか。大人にも子どもにも、外から分
からない異変は起こっているかもしれません。気が付かないうちに心に空洞ができて
いるかもしれません。そのような方は、ぜひこちらを参考にしてみてください。

災害時の子どもたちの心のケア 4つのポイント

- 1 「安心感」を与える
- 2 「日常」を取り戻すことを助ける
- 3 被災地の映像を繰り返し見せない
- 4 子どもは自ら回復する力があることを理解し、見守る

詳しくはこちら



本文は日本ユニセフ協会の許諾を得て掲載をしていますので、(公財)日本ユニセフ協会 ホームページより
複製および、他への転載または送信を禁止します。